

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37307	介護初任者研修課程Ⅰ Long-term care staff beginner training courseⅠ	木村典子、近藤美香			2	選択	1年、2年前期
科目の概要							
高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なり、その違いを認識して、コミュニケーションをとることが専門職に求められていることを認識して介護職として取るべき行動を理解できるように授業を展開していきます。 介護技術の根拠となる人体の構造や機能を踏まえて、安全な食事、移動・移乗の援助が実施できる知識・技術が修得できるようにしていきます。(DP②③④)また、尊厳を保持し、その人なりの自立について、生活との関連で考えていきます。介護職員初任者研修課程の資格の取得、将来、介護の現場で働いていくために、必要となる知識・技能の修得を目指していきます。(DP①②③④)学修を通して、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を育成していきます。(DP①④) ★医療現場、介護現場での実務経験のもと、現場に即した介護技術について授業展開していきます。							
学修内容				到達目標			
① 介護、福祉現場の多様なサービスについて学ぶ。 ② 介護職の仕事内容、働く現場について学び、福祉サービスの在り方について考える。 ③ 生活歴を踏まえた家事援助を学ぶ。 ④ 家庭内で多い事故を踏まえて、快適な環境整備、福祉用具の使い方を学ぶ。 ⑤ 食事に関連したところとからだのしくみと自律にむけた介護技術を学ぶ。 ⑥ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自律にむけた介護技術を学ぶ。				① 介護、福祉現場の多様なサービスについて説明できる。(DP①②③④) ② 介護職の仕事内容から福祉サービスの在り方について説明できる。(DP①②③④) ③ 生活歴を踏まえた家事援助を列举できる。(DP①②③④) ④ 快適な環境整備(シーツ交換)を実施できる。福祉用具である杖、スライダーが使える。(DP①②③④) ⑤ おいしい食事のための介護技術を習得する。(DP①②③④) ⑥ 自然な動きを活用した体位変換、安全な車いす移動の介護技術を習得する。(DP①②③④)			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	技術練習に取り組んでいる。 必要な知識についてさらに深めた理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。					
考え抜く力	課題発見力	援助者体験、介護者体験を踏まえて、技術を探求することができる					
	計画力						
	創造力	課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 三巻 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：介護職員初任者研修課程Ⅱ～Ⅳ 資格との関連：介護職員初任者							
学修上の助言				受講生とのルール			
介護技術を行うのに適切な恰好で行うことができている。(髪、爪、くつ、ズボン)無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ってください。 実技を行うにあたり、こころと身体の基礎的な知識が必要なため教科書、配布したプリントにて復習を行うこと。 筆記試験は生活援助技術の根拠について問います。これは、技術の原理・原則にあたります。 実技試験は原理・原則を踏まえて行っているかをチェックします。				・授業を欠席したら、欠席分の課題を出して、補充を行います。欠席はしないこと。 ・介護職員初任者の資格を取得には、評価が「良」以上あること。 ・授業中の私語は慎み、積極的に授業に参加すること。配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。覚えることが多いので、こまめに資料を読んで授業内容を整理すること ・実技を行うため、爪は切り、長髪は縛り、動きやすい服装が必要となります。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓	⑥	筆記試験は生活援助技術の根拠について問います。これは、技術の原理・原則にあたります。 ・生活援助の基本 ・移動の援助(杖、車いす) ・快適な生活環境 ・良肢位、安楽な体位 ・安静の弊害、体位変換	
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	⑥	・毎回の小テストの点数を平均して判定する。 ①授業内容を理解できているか確認する。 ②穴埋め問題と簡単な分析を中心に出題する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。	
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		レポート	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①		⑥	✓	pisa型学力 事例を使った介護技術の評価を行っていく。 技術の原理・原則を踏まえ、対象へのコミュニケーションが適切にできているかで評価していきます。 実技は原理・原則を踏まえて行っているかを評価表に基づきチェックします。 シーツ交換(三角コーナー、四角コーナー、しわ) 体位変換(慣性の法則、重心、小さくする) 車いす移動(点検、適切な設置、負担の少ない移動)
				②				
				③				
				④	✓			
				⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	(主体性) ・技術練習に取り組んでいるかをみていきます。 ・必要な知識についてさらに深めた理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノート作成の状況をみます。 (実行力) ・目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができている。 (課題発見力) ・援助者体験、介護者体験を踏まえて、技術を探求することができている。 (創造力) ・課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができている。 (発信力) ・グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 (傾聴力) ・グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 ・介護技術を行うのに適切な恰好で行うことができる。(髪、爪、くつ、ズボン)	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
秀 1. 実践可能な援助を立案し、知識にもとづいて工夫し、説明でき、模擬高齢者に、安心・安全に介護技術(体位変換、シーツ交換、車いす移動)が提供できる。 2. 模擬高齢者役を通して、他のメンバーへ、介護技術について、アドバイスができる。 3. わかりやすく、資料を作成して、発表することができる。他者に事前にアドバイスを得て、さらに付け加えをして行うことができる。 3. 授業の到達目標から自身の習得しなくてはいけない知識を理解し、自己学習ノートをわかりやすくまとめ、活用できる。教科書、文献など、様々な資料を使って、計画、援助技術が実践できる。 4. 筆記試験が90%以上の正解率である。	良 1. 模擬高齢者へ援助が原理原則を踏まえて、提供できる。(体位変換、シーツ交換、車いす移動) 2. 模擬高齢者へ援助をする際、高齢者の特徴を考えた、声かけができる。 3. 自己学習ノートをまとめることができる。 総合評価で70%以上である
優 上記の1, 2ができていて、総合評価で80%以上である。	可 1. 2の内容が助言のもと、資料を作成でき、発表することができた。 総合評価で60%以上である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	1-1多様なサービスの理解 医療・福祉における多様なサービスの理解 介護保険制度のサービス、介護保険外のサービス	講義、グループワーク (担当 木村)	介護初任者研修課程の全容、求められる介護職、介護職のキャリアパスについて説明できる 介護保険制度について説明できる。 介護保険サービスである施設。居宅、地域密着型サービスが説明できる	(復習) 介護職のキャリアパスについて説明できる。 キャリアパスについてまとめる。 (予習)住んでいる地域の特徴を調べる。人口動態、産業など	90	主体性 課題発見力 規律性
2	施設サービスでの介護職の仕事内容 老人福祉施設など 居宅サービスでの介護職の仕事内容 訪問介護など 地域密着型サービスでの介護職の仕事内容 認知症対応型グループホーム	小テストと解説 プレゼンテーション口頭と紙面で発表についてコメントを返す 講義・演習 福祉・保健・医療情報 WAM ネットを活用して、地域にある社会資源を調べる。 それをPPで説明する (担当 木村)	働く介護職の仕事内容を説明できる。 学生達の住んでいる地域の特徴、高齢者施設について調べる。	(復習)調べてきた地域にある介護施設をまとめ、わかりやすい資料を作成する。	90	主体性 課題発見力 規律性
3	こころとからだのしくみと生活支援技術 基本知識の学習 9-1 介護の基本的な考え方 9-2介護に関するこころのしくみの基礎的理解 3-3介護に関するからだのしくみの基礎的理解(骨、関節、循環、呼吸など)	小テスト 講義・演習 発表 授業の際に口頭と紙面にてフィードバックする。 3D画像を使って、からだのしくみを説明する (担当 木村、近藤)	介護とはをわかりやすい言葉で説明できる。 ICFと介護の関係を説明できる。 身体各部の名称と働きが説明できる。	(復習)授業の資料を振り返る	90	主体性 課題発見力 規律性
4	9-2介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (基本的欲求、適応、喪失体験、生きがい) 9-3介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (脳と神経)	講義・演習 (担当 木村、近藤) 授業の際に口頭と紙面にてフィードバックする。	身体各部の名称と働きが説明できる。 高齢者の心理的な特徴、生きがいについて説明できる。	(復習)事例の調理支援についてまとめる。グループで、役割を決める。 (予習) 電磁調理器、介護用用具について調べる	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
5	9-4生活と家事 生活と家事の関係について説明していきます。生活支援の一つである家事について説明していきます。事例を用いて、家事の支援について考えています。 衣服の修繕 すそまつり縫い、ボタン付けなどの実習	講義・演習 グループワーク 発表 (口頭と紙面で発表についてコメントを返す) (担当 木村・近藤)	家事の種類について述べるができる。 家事支援について述べるができる。	(復習)事例の調理支援についてまとめる。グループで、役割を決める。 (予習) 電磁調理器、介護用用具について調べる	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
6	9-4生活と家事 家事の支援の一つである調理を実際の事例に基づき実践していきます。5回目の課題を提出しないとこれは実施できません。	小テストと解説 講義・演習 グループワーク 発表 (担当 木村・近藤)	調理支援過程を系統だてた説明ができる。	(復習)実施した調理支援の振り返りをレポートする。 (予習) 家で介護食をつくり、資料にまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
7	9-4生活と家事 過ごしやすい環境について説明をして、介護実習室の掃除し、快適環境について考えます。 シーツのたたみ方、毛布のたたみ方の方法を行います。	演習 技術到達評価表に基づき、コメントする。 (担当 木村・近藤)	作業効率を考えた適切なシーツのたたみ方ができる。	(復習)シーツのたたみ方の練習 (予習) 快適な生活環境についてまとめる。家での掃除方法	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
8	9-5 快適な居住環境整備と介護 ベッドメイキングを行います。	演習 技術到達評価表に基づき、コメントする。 (担当 木村・近藤)	くずれにくいベッドメイキングができる。	(復習)空き時間を活用して、介護実習室でベッドメイキングの練習 (予習) 市販されている消毒薬(アルコール、次亜塩素酸、逆性せっけん)の効用を調べる	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	9-5 快適な居住環境整備と介護 寝たままの状態でのシーツ交換を実施します。そのために必要となるベット上での上下移動、仰側臥位の移動の技術を学びます。	演習 技術到達評価表に基づき、コメントする。 振り返り (担当 木村・近藤)	ベッド上に高齢者がいた状態でのシーツ交換が実施できる。	(復習)空き時間を利用して、介護実習室でシーツ交換の練習 (予習) 人が寝ているときと寝ていないときの違いについてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	9-5 快適な居住環境整備と介護 9-7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 移動・移乗に関連した心身について説明をします。移動の道具として福祉用具について説明をします。寝たきりでの弊害について説明をします。	小テストと解説 演習 技術到達評価表に基づき、コメントする。グループワーク 発表 安楽な体位を自身で体験してPPなどを活用して説明してもらいます。 (担当 木村・近藤)	寝たきりでの弊害について説明できる。 杖、スライダーを使うことができる。	(復習)ボディメカニクスについてまとめる。 (予習)廃用症候群について調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	9-7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護体の自然な動きを利用した体位変換、移動の技術を学びます。安楽な体位の保持について学びます。	体の自然な動きを利用した体位変換、移動の技術を学びます。安楽な体位の保持について学びます。	体の自然な動きを利用した体位変換ができる。	(復習)空き時間を利用して、介護実習室で体位交換の練習 (予習) 安楽な体位を保つための工夫を調べる	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	9-7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護臥位から座位、車いす移動技術について学びます。応用編として、車いすから便器への移動についても行っていきます。	演習技術到達評価表に基づき、コメントする。 グループワーク 発表 (担当 木村・近藤)	車いすを使う時の注意点が述べられる。 麻痺を考慮した車いす移動ができる。	(復習)空き時間を利用して、介護実習室で車いす移動の練習 (予習) 事例の高齢者の援助計画を立てる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
13	9-8 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 食事と心身の関係を説明し、高齢者が抱えやすい食の問題を説明します。嚥下障害のある人の食事の援助について説明をします。	小テストと解説 講義・演習 グループワーク 発表 (担当 木村・近藤)	高齢者が抱えやすい食の問題を説明できる。	(復習)高齢者が抱えやすい食の問題をまとめる。 (予習)高齢者に適した食事の在り方をまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
14	9-8 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 目隠し、寝たままでの食事の援助技術について学びます。	演習 グループワーク 発表 (担当 木村・近藤)	高齢者の特徴にあわせた食の援助が実施できる。	(復習)演習を通して、高齢者に適した食事の在り方をまとめる (予習) 事例に基づいた移動・環境整備について援助方法を考えてくる	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
15	9-7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 事例に基づき移動、ベットメイキングの方法について考え、実践し、修正を加え、対象にあった方法を考案できる。	演習 技術到達評価表に基づき、コメントする。点数化する (担当 木村・近藤)	根拠がある移動、ベットメイキングの技術ができる。	(復習)演習を通して、自身の技術の振り返りをする。 (予習)期末試験に向けて、学修に取り組む。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力